

里あるきマップ



経塚

薬王坂から天ヶ岳方面へ少し行くと石組の上に経塚と刻まれた石碑がある。「経塚」とは、経文を経筒・経箱に入れて埋めた塚のこと。



薬王坂

昔、伝教大師が鞍馬で薬王如来の像を造り、比叡山に帰ろうとしてこの坂を越えた時、薬王がその姿を現したことからこの名がつけられたといわれている。



南無地藏願王大菩薩

薬王坂から鞍馬側へ少し下ったところにある。別名「小便たれ地藏」とも呼ばれ、寝小便をする子どもを連れて願をかけ、付近の山で薬草を煎じて飲むと不思議と夜尿症が治るといわれる。



薬王坂弥陀二尊板碑

薬王坂から静原側へ少し下ったところに朽ちた松の大きな木があり、その根元に2体の阿弥陀如来を浮き彫りにした石仏がひっそりと佇んでいる。



14 天皇社

仲哀天皇と天武天皇を祭神とし、社伝では8世紀頃の創立となっている。「御幸持ち」や「お火炊き祭」などの祭礼の場となり、人々からは「下の神社」と呼ばれて親しまれている。

1 若宮神社

小さく目立たない神社であるが、春と秋の祭礼とお火炊き祭の時に行われる「御幸持ち」で、静原神社から天皇社(下の神社)を経て、最後に立ち寄る神社として人々には馴染み深い神社である。



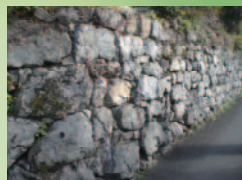
2 阿弥陀寺

本尊は阿弥陀如来。浄土宗知恩院の末寺であり、1675年(延宝3)創建。4月にはお釈迦様の誕生を祝う「花祭り」、8月23日には「施餓鬼会」、8月下旬には「地藏盆」が行われる。地藏盆は児童数の減少に伴って阿弥陀寺でのみ行われるようになった。



4 村の地藏さん

杉の古木の下に7体の石仏が立っている。そのあたりに見られる石を並べ赤い前掛けが掛けられているだけであるが、なぜかお線香の絶えたことのない不思議な石仏である。



6 石垣

野面積みの趣ある石垣が村の所々で見られる。自然石を用い、丈夫で排水性に優れているのが特徴。

7 静原児童公園

もとは静原小学校があった場所、校舎屋根に火の見櫓があり、時報の太鼓が置かれていた。



9 真名井の池

丹後元伊勢近くの真名原から来た豊宇氣比女命が修養したという逸話がある。池はどんな日照りでも涸れないと言われており、今は個人宅の庭に井戸として現存。

5 死者の渡れない橋

かつて橋があり、棺桶を担いでその橋を渡ると、亡骸が消えてしまうと伝えられていたため、忌み嫌って避けていたという。昔、この橋のそばに、弁天さんがお祀りしてあったという伝承からだろうか？



水車

昔は杉葉からお線香を作ったり、米や麦を脱穀するための水車が静原川沿いにいくつもあった。



16 稲荷山下の社

巨石の下に小さな小社があったという。静原神社の末社。



17 稲荷神社 (いろは明神)

元権丞本家の屋敷内にお祀りしてあったが、自分の持ち山である稲荷山に移された。昭和10年頃に新築されたが、今では荒廃の一途をたどっている。

洞穴

黒と赤毛のつがい狐が住んでいたという。場所不詳。

総山神社 (総さしさん)

昔の巨石を神とあがめた原型が見られる祠。場所不詳。



安産地藏

仮墓から南に歩いて数分の場所に祀られているお地藏さん。昔、勘田の田圃小屋の中へ誰かが捨て置いていたのをここに安置したという。

ホタル

静原川の清流にホタルが乱舞する様は静原の初夏(6月末)の風物詩。(川の上流には水源があり、今でも家庭用水として使われているほど水が美しい)

仮墓、静原墓地を経て岩倉方面

